

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2022年 1月 14日

事業所名:みらいポケットにしわき

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価 (%)	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	十分なスペースを確保している 新型コロナウイルス感染対策として食堂を使用せず、密にならないように配慮している	はい 100 どちらともいえない 0 いいえ 0 わからない 0	今後も密にならないようにスペース確保を考えながらと取り組む
	2 職員の適切な配置	児童発達支援・放課後等デイサービス共に配置基準を満たし、且つ、十分な活動支援を行えるように職員を配置している	はい 90 どちらともいえない 0 いいえ 0 わからない 10	今後も適切な職員数を配置していく
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	その日のスケジュールを児童発達支援では絵カード・放課後等デイサービスでは文字と時間で視覚化し提供している	はい 75 どちらともいえない 5 いいえ 0 わからない 20	今後も同様に整備していく
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	児童発達支援・放課後等デイサービス、それぞれ利用終了時間毎に掃除をしている また季節に応じた壁面装飾をしている	はい 80 どちらともいえない 0 いいえ 0 わからない 20	今後も同様に心地よく過ごせるよう生活空間の確保を行う
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	半期に1度目標設定をし、それについて毎月進捗状況を報告している		今後も、職員の積極的な参画に努める
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現在、実施していない		今後、実施を検討する
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	月1回 職員の勉強会を実施。多彩な情報を取り入れるようにしている		今後も毎月開催すると共に、外部研修へも参加する
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	少なくとも半年に1回以上モニタリングを行い、ニーズや課題の分析を行った上で計画を作成している	はい 95 どちらともいえない 5 いいえ 0 わからない 0	全利用者に満足していただけるように今まで以上に分析を行い計画を作成する
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	ニーズに合わせ計画している	はい 90 どちらともいえない 10 いいえ 0 わからない 0	今後も計画に基づき、個別活動と集団活動の時間を毎日設定し、個々に応じた活動内容も提供していく
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	利用者毎に計画案を作成し、職員間で個別支援計画作成会議を開催し、最も必要な目標・内容を検討。その後、支援計画に記載している	はい 90 どちらともいえない 10 いいえ 0 わからない 0	具体的な内容が不十分な場合は連絡帳や口頭で詳しく伝えていく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価 (%)	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	その都度計画に沿った支援を提供するように考えている また支援者間で適切な支援が出来るようその都度伝えている	はい 100 どちらともいえない 0 いいえ 0 わからない 0	今後も計画に沿った適切な支援が行えるよう、支援者間で話し合いやすい環境を整える
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	全職員で活動内容の案を出し合っている		今後も様々な活動プログラムを提供出来るように全職員で立案していく
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日・休日に合わせた支援内容を考え、提供している	はい 90 どちらともいえない 0 いいえ 0 わからない 10	今後も同様に行う
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	活動内容の偏りがないように、全職員で活動内容の案を出し合っている		今後も多様な活動プログラムを提供出来るように全職員で立案していく
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援内容をそれぞれで確認している また適宜個別で話し合いをし、適切な支援が行えるように努めている		支援開始までに全職員がないよう把握し役割分担の確認ができるよう徹底します
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	その日の振り返りを行い、気になった点は都度共有している 不在職員にも伝わるよう業務日誌に記入し情報共有を行っている		全職員周知に努めていく
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	毎日連絡帳に記入し、複写を保管すると共に別紙にて活動内容・その日の様子等を記入し保管している		今後も記録の徹底、支援の検証を継続していく
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	個々に応じて3ヶ月～6ヶ月に1度 モニタリングを実施し計画の見直しを行っている		今後も適宜モニタリングを開催し計画の見直しを行う

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価 (%)	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	児童発達支援管理者がサービス担当者会議に参画している 適宜保育士も参画している		今後も同様に参画する
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	受け入れ実績なし		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	受け入れ実績なし		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	必要に応じてサポートファイルの書類作成・提供を行っている		必要に応じて行う
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	直接的な情報提供を実施したことがない		必要に応じて行う
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	ZOOMIによるオンライン研修を受講している		今後も研修受講の促進を行う
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	設定は行っていないが地域資源を活用している	はい 35 どちらともいえない 15 いいえ 0 わからない 50	今後も同様に行う
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	併設するデイケア利用者との交流を実施した		今後も同様に行う

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価 (%)	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時にはもちろん、ご利用後も必要に応じて説明を行っている	はい 95 どちらともいえない 0 いいえ 0 わからない 5	今後も適宜説明を行う
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	対面での説明時には計画を示しながら説明を行っている 郵送等の場合は別紙を添付し説明を行うようにしている	はい 95 どちらともいえない 0 いいえ 0 わからない 5	支援内容の丁寧な説明に努める
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	言語聴覚士による勉強会を開催した	はい 50 どちらともいえない 30 いいえ 0 わからない 20	多くの保護者の方に参加していただけるように工夫する
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳や口頭にて実施 必要に応じてモニタリング以外にも話し合いの機会を設け共通認識に努めている	はい 90 どちらともいえない 0 いいえ 0 わからない 10	今後も同様に共通理解の徹底を行う
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	対応方法を検討し連絡帳や口頭にて助言	はい 90 どちらともいえない 0 いいえ 0 わからない 10	今後も適宜、同様に実施する
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者会を開催し保護者間での交流の場を設けた	はい 25 どちらともいえない 45 いいえ 0 わからない 35 ご意見:第2回目の開催もよろしく申し上げます	ご意見をいただいた通り、第2回目の開催を検討し、参加者が増えるよう呼びかけを行う
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	契約時には苦情対応者設置の旨を説明 今年度については苦情の受付がない	はい 45 どちらともいえない 5 いいえ 0 わからない 50	今年度同様、苦情が出ないように努める
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	個々に応じ、口頭・連絡帳・図示・イラストを交えての意思疎通を実施。他に電子メールや文書でのやりとりもしている	はい 95 どちらともいえない 0 いいえ 0 わからない 5	今後の個々に応じたやりとりを実施する
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	月1回のお便り配布・月4回程度のホームページ更新を行い活動の様子等を伝えている	はい 90 どちらともいえない 0 いいえ 0 わからない 10	今後も発信する
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人が特定されるリスクのある書類については、施錠できる場所、パスワードロックをかけたコンピュータで管理するなど、細心の注意を払っている	はい 90 どちらともいえない 0 いいえ 0 わからない 10	今後も取り扱いには十分注意を払う

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価 (%)	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルをファイルし保管 会議時等、保管場所や内容の確認を行っている 保護者に対しては適宜周知に努めている	はい 75 どちらともいえない 5 いいえ 0 わからない 20	職員全員において内容周知に努める
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年2回の避難訓練を実施している	はい 40 どちらともいえない 5 いいえ 0 わからない 55 ご意見:避難訓練等、どのようにされているのか教えてほしい	火災だけでなく他の災害を想定した訓練を検討し 実施の際には、連絡帳・お便り等で保護者へも伝えていく
	3 虐待を防止するための職員研修の確保等の適切な対応	虐待防止についての研修を実施している		今後も同様に行う
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	対象利用者なし		やむを得ず身体拘束を行う場合が出てきたときには 保護者に十分説明を行うと共に 拘束時間と内容の記録を保管する
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	保護者に確認を行った上でアレルギー物質を確認し対応している		今後もアレルギー物質にふれることなく安全に過ごせるよう対応する
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット事例の報告書の作成を行い、全職員で共有している		ヒヤリハット事案が発生しないよう努める